スポーツを通じた地域振興推進委員会委員名簿

No.	団体名	役職	氏名
1	鴨川市体育協会	会長	花山藤太郎
2	鴨川市スポーツ推進委員連絡協議会	会長	山下洋介
3	オルカ鴨川FC	代表	亀田秀次
4	MOPS	監督	高橋松吉
5	一般社団法人 鴨川市観光協会	会長	鈴木健史
6	鴨川市商工会	会長	島田誠一
7	鴨川観光プラットフォーム株式会社	事業推進統括	刈込信道
8	鴨川サーフィンクラブ	会長	川井幹雄
9	一般社団法人 ウェルネスポーツ鴨川	代表理事	渡辺淳一
10	学校法人 国際武道大学	教授	清水宣雄
11	学校法人鉄蕉館 亀田医療大学	事務局長	江羅 茂
12	一般社団法人 鴨川青年会議所	理事長	小越 友
13	鴨川ライオンズクラブ	会長	高橋政貴
14	鴨川ロータリークラブ	会長	亀田美穂
15	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	スポーツ医学科部長	大内 洋
16	市民		森谷宝子
17	市民		佐藤翔太
18	市民		里見美佳

専門部会名簿

1	一般社団法人 鴨川市観光協会	会長	鈴木健史
2	国際武道大学	教授	清水宣雄
3	鴨川観光プラットフォーム株式会社	事業推進統括	刈込信道
4	オルカ鴨川FC	GM	北本綾子
5	鴨川サーフィンクラブ	プロサーファー	小川直久
6	南房総サイクルツーリズム協会	会長	瀬戸川賢二



01 2018・2019年度の振り返り

01 1

|地域スポーツコミッションの創設

2018年度

「スポーツを通じた地域振興基本計画」



鴨川版地域スポーツコミッション

「一般社団法人ウェルネスポーツ鴨川 |

2019年3月22日設立

01.2 ビジョン

「ウェルネスシティ鴨川」の実現

ウェルネス(wellness)

人々の心身の健康 × 地域の健康・幸福

【目標】

新産業と雇用の創出 健康で質の高い生活の実現



移住促進・人口流出抑制 「鴨川」ブランドの創出 持続可能な地域社会

01.3 2020年度以降への課題

- ①想定外を想定する(台風、新型コロナウイルス)
- ②収益/公益事業の分別による持続可能な収入のバランス
- ③プログラム・商品の造成による収益事業
- ④総合運動施設の指定管理者制度導入の検討
- ⑤市民向けプロモーションによる認知度・理解度向上
- ⑥地域人財の発掘・登用、市内各種団体との連携

02 2020年度/実施事業

- 1. 地方創生推進交付金事業 (最終年度)
 - ①大会合宿誘致事業
 - ②集客システム構築事業
- 2. 地域おこし協力隊事業 (2年度目)
 - ①小野 幸一 隊員(2019年6月委嘱)
 - ②玉木 涼佑 隊員(2020年6月委嘱)
- 3. スポーツ庁

スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業 (単年度)

テーマ:サイクルツーリズム推進

03 2020年度 / 4 つのフェーズ (年度当初想定)



外出自粛緩和|関係者・ローカルを対象とした事業実施

- ○ワーケーション事業の調査・研究・モニタリング
- ○鴨川令徳ビーチコートとの連携・活用、ビーチスポーツ大会・合宿誘致

ウィズコロナ時代へ | 県内・関東圏向け

- ○サイクルモニターツアーの実施
- ○ロゲイニングイベント(オープンエアー・期間分散型)

新しい日常 | 全国・在日外国人に対象を拡大 ○全国・在日外国人向けの

- サイクルツアー・プログラムの展開
- ○房総サイクルサミット2020 (広域連携)
- ○通年型サイクルツアー・プログラムの 商品造成・販売開始

04 2020年度/活動報告

04.1 大会合宿誘致

- ①2020東京オリパラ海外女子サッカー代表チーム事前キャンプ誘致
- ○2021年開催においても、鴨川市での事前キャンプは内定

(ヨーロッパ地区女子サッカー代表チーム)

- ○協定書(鴨川市・千葉県・対象国五輪委員会・サッカー協会の4者契約)は最終調整中
- ○組み合わせ抽選(4月)後に正式リリース
- ○事前キャンプ地には新型コロナウイルス対策が要求される(受入マニュアル作成)
- ○交流事業 風土・文化の勉強会、市民向けPR、公開練習・激励会パブリックビューイング、eスポーツ交流などを計画※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、直接的な交流は避ける。
- ○事前キャンプ誘致を契機とした、両地域・スポーツ団体の連携・交流

04.1 大会合宿誘致

②マリン・ビーチスポーツ大会・合宿誘致

<u>鴨川令徳ビーチコートとの連携・活用</u>

2020.7.25~26 JFA 第15回全日本ビーチサッカー大会 関東大会

2020.10.18 2020関東ビーチサッカーリーグ

2020.9.6・10.11 2020関東女子ビーチサッカーリーグ

2020.9.12~13·10.17~18 男子ビーチサッカーチーム BSC川崎合宿(関東ビーチサッカー連盟)

▶ 2021年度:関東大会、関東ビーチサッカーリーグ(男女)の開催が決定

地域への理解醸成・普及活動

地元ビーチサッカーチーム「SONNE Kamogawa B.S.」ビーチサッカー体験会(毎週月・木・日)

2020.11.29 ゾンネ鴨川令徳カップ

2020.8.27 ビーチテニス体験会 (鴨川令徳高等学校主催)















04.1 大会合宿誘致

③その他の大会・合宿誘致

2020.8.8~10 ラグビージュニアスクール合宿:2021年度以降も継続開催の意向

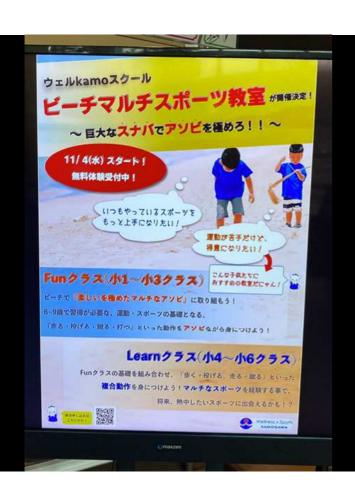
2020.10.11~12 全日本女子硬式クラブ野球選手権大会



04.2 集客システム構築/施設利活用

- ①総合運動施設の将来像および<mark>指定管理者制度</mark>導入に向けた検討スポーツ振興課と連携
 - (1)導入後の現行業務の振り分けシミュレーション
 - (2)民間事業者のサウンディング調査
 - (3)文化体育館ロビーのイメージアップ(ウェルkamoコーナーの設置・充実)
- ▶ 2022年4月の指定管理者制度の導入を目指す。
 ハード(施設)管理とソフト事業(利活用)を分けて考える必要がある。
- ▶ 利用者数のカウント対象を拡大:スポーツを「する」人+「見る」人・「支える」人 スポーツを「する」人だけの施設から、より幅広い人たちが交流する施設へ















②マリン・ビーチスポーツ

海洋・砂浜=地域環境資源のブラッシュアップ・活用

- (1)ビーチスポーツ大会・合宿誘致
- (2)市民の理解醸成・普及活動

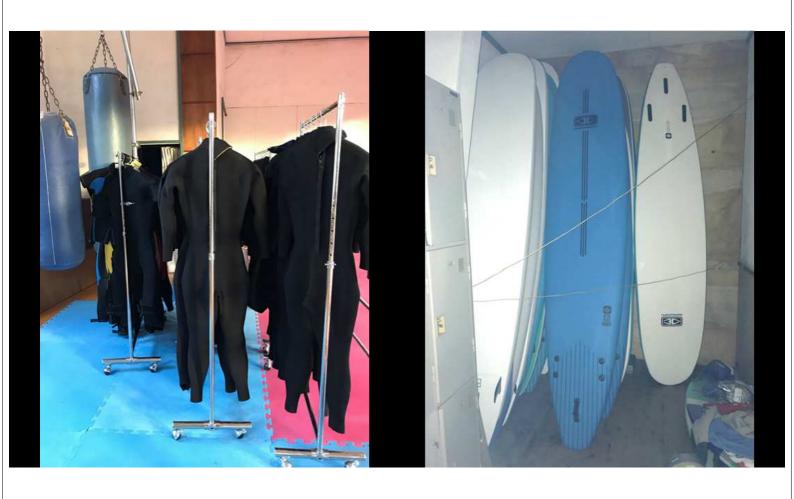
鴨川令徳高等学校、地元ビーチサッカーチーム「SONNE Kamogawa B.S.」連携

(3)団体向けサーフィン体験プログラムの展開

市所有サーフィン備品(ボード、スーツ)活用

▶ 市と管理委託契約/備品を鴨川令徳高校に移動(使いやすくする)

鴨川サーフィン倶楽部との連携



- ③ウェルkamo (地域ウェルネス推進事業)
- ○ウェルネスシティ鴨川 = 地域住民の心身の健康が基礎

3世代へのアプローチ

- (1)ジュニア世代 (未来世代)
- (2)働き盛り世代
- (3)シニア世代

04.3 集客システム構築/地域スポーツ文化創造

(1)ジュニア世代 (未来世代)

○独自事業

オンライントレーニング : 高校生・親子を対象に第1次緊急事態宣言中に実施

ビーチマルチスポーツ教室 : 2020.11~ 毎週水曜開催

ウェルkamoスクール : スポーツ少年団・青少年チーム向けの運動測定会

房総Waves・たばらソフトボール・鴨川リトルベアーズ

勝浦市豊浜ソフトボール・勝浦ライフセービングクラブ など

○支援事業

土曜スクール 運動教室 :鴨川小学校 *東条・西条小学校はコロナの影響で中止

こども園 運動教室 : 市内6園

マザーズ 運動教室 : 重度の障がい児の親子向け

▶いずれの事業も参加者・関係者より次年度の継続希望の評価をいただいている。















- (2)働き盛り世代(ウェルkamo BIZ)
- ○鴨川市商工会理事会にて健康測定会体験・PR (2020.6.18)
- ○地域企業での健康測定会実施・アドバイス 鴨川市・勝浦市の企業5社にてモニター実施
- ○ウェルkamoチャレンジ(個人向け):ダイエット×自転車、美姿勢の2テーマ
- ▶ コロナ禍による企業の状況で積極的には展開できなかった。
- ▶働き盛り世代の運動機会創出・健康づくりは 企業、地域の生産性向上 健康寿命の増進 においても重要な意味をもつので、次年度以降積極的に推進したい。
- ▶地域スポーツコミッションの収益事業にもなり得る。





(3)シニア世代

○独自事業

ウェルkamo教室(運動教室) : 文化体育館にて毎週水曜実施中

*みんなみの里での開催はコロナ禍により休止中

BOSO(房総×防草)草刈サミット: 2020.11.6 平塚地区房田棚田

▶ 第8回スポーツ振興賞 **-般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長賞**

草刈作業の運動効果について専門家による科学的検証の実施

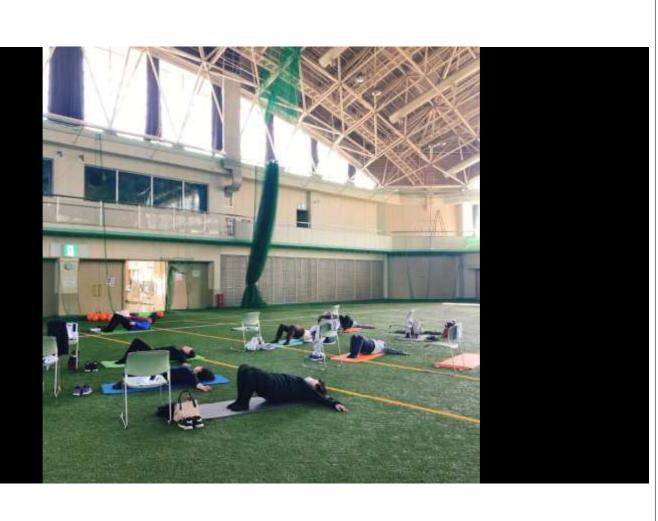
結果:草刈作業は一般的な体幹トレーニング以上に筋肉をつかっている

▶ 科学的証左を以て、ヘルスツーリズムへの活用

○支援事業

スロートレーニング : コロナ禍で休止していた大山地区・江見地区の活動支援

*現在、緊急事態宣言発令中により中断

























[抜粋] 草刈機を用いた身体活動と 体幹エクササイズにおける体幹筋活動検証

NPO法人コンディショニング科学研究所 担当 笠原政志

研究目的

動力式草刈機を用いた身体活動に関する研究

研究課題1

熟練者と未熟練者における草刈り中の筋活動の検討

研究課題2

草刈り中の筋活動量と体幹エクササイズ中の筋活動量の検討

国際武道大学研究倫理部会の承認をえて実施した

方 法(草刈方法)

1)場 所:鴨川市内の平地*^{注1}

2) 草木高さ:約1m

3) 使用機器:エンジン式小型草刈機*注2

4) 実施時間: 30秒×4セット

5) 動作指定:直進方向に進みながら草刈り実施 6) そのほか:熟練者は普段通り実施するよう指示

未熟練者はレクチャーを受けた後に実施



^{注1}草刈り実験風景

注2エンジン式小型草刈機

NPO法人コンディショニング科学研究所

方 法(体幹エクササイズ方法)

1)場所:鴨川市内の平地

2) 種 目:アイソメトリック体幹エクササイズ(ex)9種目*注3

3) 実施時間:各種目30秒 *種目間は約60秒とした 4) 動作指定:指定された姿勢を維持するよう指示

5) そのほか:全ての種目エクササイズ方法を確認した後に実施

注3 体幹エクササイズ 9種目











方 法 (**筋活動量測定方法**)

1) 使用機器:表面筋電図「Myotrace400 (Noraxon社製)」を用いた。

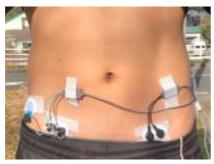
2) 計測部位:左右内腹斜筋*注4、左右多裂筋*注5

3) 電極貼付: アルコール綿を用いて該当部位の処理をした後に

電極を貼り付けた。

3) 測定時間:草刈り及びエクササイズ共に各30秒間

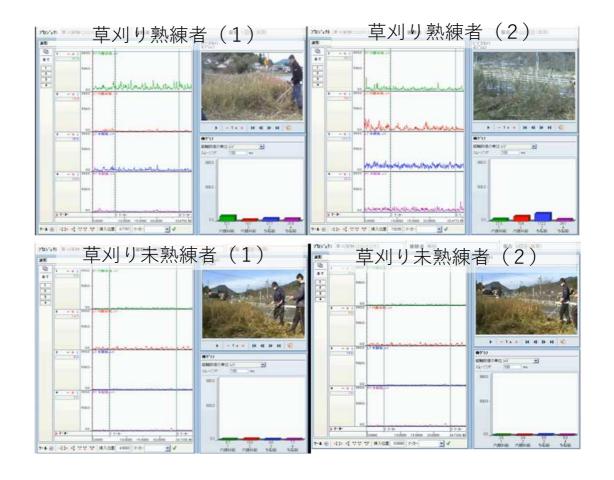
4) そのほか:全ての種目エクササイズ方法を確認した後に実施



注4 大沼ら2013の方法に基づき、内腹斜筋単独で の筋活動計測部位にデュアル電極を貼り付けた

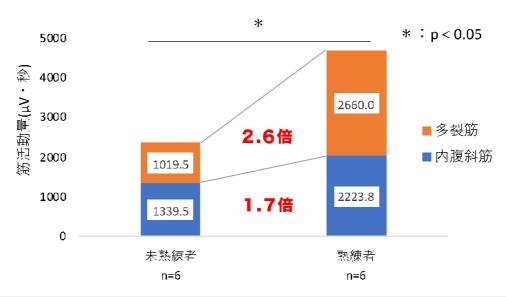


注5 大沼ら2013の方法に基づき、多裂筋単独での 筋活動計測部位にデュアル電極を貼り付けた



結果 (研究課題①)

熟練者と未熟練者の草刈りにおける体幹の筋活動量の比較

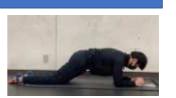


熟練者の筋活動量が有意に大きくなった

NPO法人コンディショニング科学研究所

結果 (研究課題②)

Ex1と草刈りにおける筋活動量の比較



腹筋の筋活動量 (熟練者:n=6)



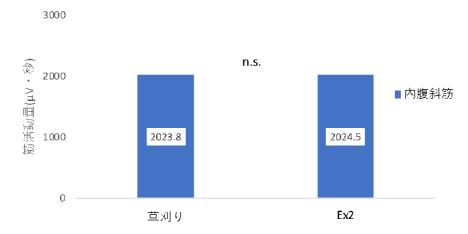
草刈りとEX1との間に腹筋の筋活動量に有意な差はなかった

結果 (研究課題②)

Ex2と草刈りにおける筋活動量の比較



腹筋の筋活動量(熟練者:n=6)



草刈りとEX2との間に腹筋の筋活動量に有意な差はなかった

NPO法人コンディショニング科学研究所

結果 (研究課題②)

Ex3・4の平均と草刈りにおける筋活動量の比較



腹筋の筋活動量(熟練者:n=6)

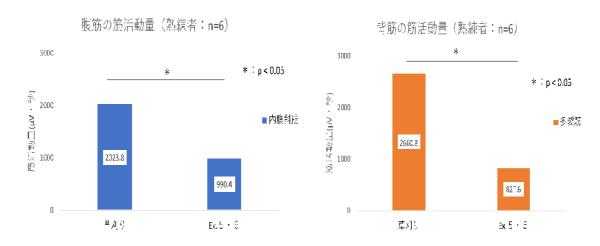


草刈りとEX3・4との間に腹筋の筋活動量に有意な差はなかった

結果 (研究課題②)

Ex5・6の平均と草刈りにおける筋活動量の比較





草刈りとEX5・6との間に腹筋と背筋の筋活動量に有意な差があった

NPO法人コンディショニング科学研究所

結果 (研究課題②)

Ex7と草刈りにおける筋活動量の比較



背筋の筋活動量 (熟練者:n=6)



草刈りとEX7との間に腹筋の筋活動量に有意な差はなかった

結果(研究課題②)

Ex8・9の平均と草刈りにおける筋活動量の比較



背筋の筋活動量(熟練者:n=6)



草刈りとEX8・9との間に腹筋の筋活動量に有意な差はなかった

NPO法人コンディショニング科学研究所

まとめ

動力式草刈機を用いた身体活動に関する研究

研究課題1

熟練者と未熟練者における草刈り中の筋活動の検討



熟練者は初心者に比べて体幹を使って草刈活動を実 施していることが明らかとなった。

研究課題2

草刈り中の筋活動量と体幹エクササイズ中の筋活動量の検討



草刈活動における体幹筋活動は姿勢支持の体幹エクササイズと同等であることが明らかとなった。

BOSO(房総×防草)草刈サミット

オンラインシンポジウム (2021.3.9 19:00~)

草刈の運動効果実験の結果をもとに、**スポーツ草刈の意義、運動効果、地域課題解決への活用**などをテーマにオンラインシンポジウムを急遽開催した。

パネリスト/ 笠原教授、鴨川市中山間地域等活性化協議会会長 鴨川市農林水産課

山口県長門市関係者(2021年11月に同様のイベントを企画)





4 ユニバーサルスポーツ推進

バレンタイン♥ブラインドサッカー体験シンポジウム (2021.2.14)

- ○コロナ禍のため、昨年度実施した「ウェルkamo X'MAS GAMES」は中止
- ○ユニバーサルスポーツを通じてユニバーサル社会を考える体験会・シンポジウムを ブラインドサッカーをテーマとして開催
- ○体験会 : 緊急事態宣言中のため、オルカ鴨川U-18/U-15に限定して実施
- ○シンポジウム: 以下のパネリストで**オンライン**開催

なでしこジャパン 籾木選手、ブラインドサッカー日本代表 寺西選手 ブラインドサッカー女子日本代表 鈴木選手、オルカ鴨川U-18/U-15 永井監督

ンタイン マフラインドサッカ・ ちづく リシンポジウム

~ユニバーサルスボーツでみんながかがやくまちづくり~

オンライン関係「YouTubeつエルスボジズチャンネル

13:15~13:45 ハートフルサスピーチ

プラインドサッカー男子日本代表強化指定選手 寺西 一選手

14:00~15:00 ハートフルットーク

パネリスト/ 粉末 橋花 選手 (Ot Reign/株式会社Criscae) 幹末 里佳 選手 (プラインドサッカー女子日本代表) 佐藤 翔太 さん (鴨川未来供産部HEXT)

進行/ 寺西一選手

対野 大桁(ウェルネスボーン第四)





プラインドサッカー (アイマスタル等別 して観覚のない状態で行うセッカー は 脚がい意だけでなく。彼用者も楽しめる ユニバーゲルスボーブです。 プラインドサッカー選手をおと続りつつ だれもがかがか好るユニバーサル社会の 実際について考えます。

報用は、特別協力。されか知用FC 対立が実行を記さんだまプラインとラッカー協称 一般対策を入りまれるスポーツ報用 [五時会せ] ウェルネスポーツ報用 (亜島:同野) #204-7992-1114 wellpojp









5先進地視察

(1)熊本県菊陽町・エボレパーク(2020.9.20~23)

地元出身ビーチサッカー代表選手の民間での開設・運営のビーチコートの取組み

(2)千葉県長柄町・リソルの森(2020.9.25):

国内外チーム・アスリートの合宿にも活用されている、トレーニング・宿泊・飲食・ 温浴など多種多様な施設が整備されたウェルネスステイの先駆地









⑥広報・プロモーション

市民・一般への周知 活動への参加

(1) 公式ウェブサイト : 逐一更新

(2) YouTubeウェルスポ公式 : 逐一更新 45人チェンネル登録

(3) SNS(Facebook 539いいね・Twitter 532フォロワー・Instagram 111) : 逐一更新

(4) メールマガジンの定期配信 : 月1回 外部企業・団体向け

(5) シーズナルパンフの発行 : 全2回 外部向け誘客

(6) ウェルスポ通信の発行 : 全3回 市民向け(学校経由)

(7) 広報かもがわへの掲載 : 毎月1日号 市民向け

(8) KamoZineへの掲載 : 年3回 ウェルkamo通信コーナー





E注重效應。

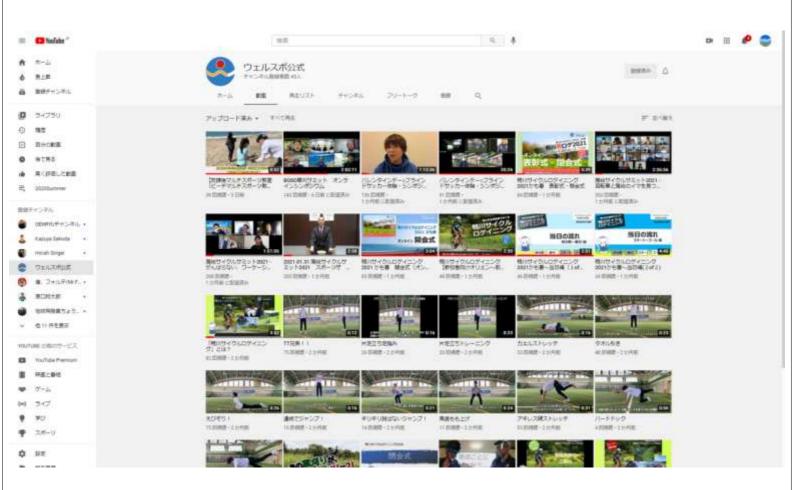
機構 会長賞な

MM15.10.110f BOSO(廃総×防草) 草刈サミット オンラインシンポジ ウム 緊急開催! 2021/03/09 at 19:00~20:30 ラ子高新なにより異常が減少し、作用田・秋の奴隶地が増え続ける場所の――、田 他には高水が販売し、イノレシをはじめとする有害角部の巣造に…。 所近の農件物 に深刻な無害も与えています。 軽音を持ぐためーー

19:00~20:30 いいうことで YouTube LIVE ウェルスポ公式 並人の方へ

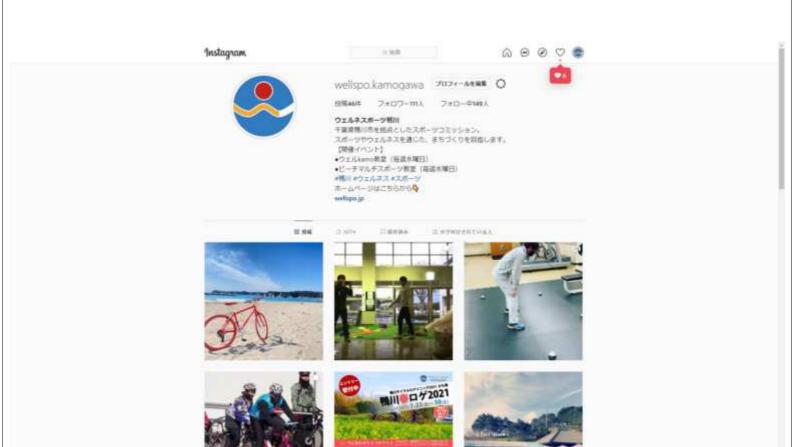




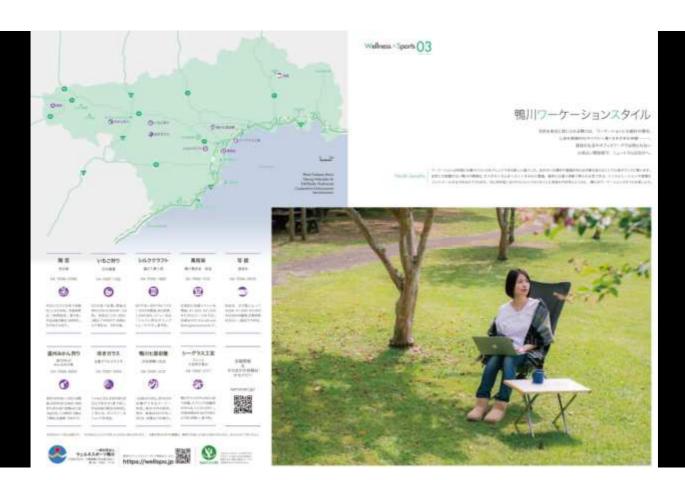
























7人財育成

観光まちづくりワークショップ ウェルkamo CAFÉ の開催

○目的 : 観光学の基礎を学ぶとともに、鴨川におけるまちづくりに活かす。

○期間 : 2020.09.14~2020.12.14 全5回

○講師 : 渡辺淳一代表理事

○対象 : 当法人職員

鴨川市スポーツ振興課・商工観光課職員

スポーツによる地域活性化庁内プロジェクトチームメンバー

鴨川観光プラットフォーム㈱職員





04.4 地域おこし協力隊事業

①小野幸一隊員(2019.6 委嘱)

サイクルスポーツやサッカー指導経験、農業、鍼灸師資格、狩猟免許などを活用

- (1)ロゲイニングイベント企画・実施
- (2)サイクルツアー・プログラム商品造成
- (3)レンタサイクルの整備
- (4)大会・合宿誘致・実施における協力
- (5)草刈サミット開催への協力
- (6)ウェルkamo事業への協力

04.4 地域おこし協力隊事業

②玉木涼佑隊員(2020.6 委嘱)

アスレチックトレーナー (AT) 資格や自身のハンドボール等のスポーツ経験を活用

- (1) ジュニア世代向け「ウェルkamoスクール」「ビーチマルチスポーツ教室 |
- (2) 働き盛り世代向け「ウェルkamo BIZ」(企業・団体へ出張しての健康測定会・アドバイス)
- (3) シニア世代向け「ウェルkamo教室」
- (4) オンライントレーニング
- (5) 大会・合宿誘致・実施における協力
- (6) 草刈サミット開催への協力

04.5 スポーツ庁 スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

①房総サイクルサミット2020 (2021.1.31)

緊急事態宣言再発出を受け、オンライン開催に変更

(1) 開催趣旨

近年、サイクルツーリズムが注目されるなか、千葉県を起点として和歌山県まで至る全長1400kmの「太平洋岸自転車道」が整備されるなど、房総半島にも多くのサイクリストが訪れるようになっています。サイクルツーリズムの振興には地域間、団体間の連携が不可欠と考えます。このたび千葉県および周辺地域において、サイクルツーリズムに関わる官民の関係者が集い、実際のツアー体験やシンポジウムなどを通じて、活動状況や課題等を共有し今後の連携を図る機会として、千葉県で初となる「房総サイクルサミット2021」を開催しました。

04.5 スポーツ庁 スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

①房総サイクルサミット2020 (2021.1.31)

(2) 日程 2021年**1月31日(日)** 10:00~15:00

ビデオメッセージ/ スポーツ庁長官 室伏 広治 氏 10:00~

10:30~12:00 オンラインクロストーク/ウェルスポ鴨川×女子部JAPANが考えるワーケーション がんばらない、ワーケーション

【パネリスト】

ミノシマ タカコ フリーライター/ウェブ編集・狛犬愛好家

山下 慶子 熊本県上天草氏在住/フリーランス

小林 奈巳 女子部JAPAN(・v・) 代表/株式会社都恋堂

04.5 スポーツ庁 スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

①房総サイクルサミット2020(2021.1.31)

 $13:00\sim15:00$ オンラインクロストーク/**自転車と房総のイマを見つめあい、ミライを考える**。

国十交通省 関東運輸局 観光部 部長

LIFE CREATION SPACE OVE

千葉県サイクリング協会 会長

ツール・ド・ちば実行委員会 事務局

株式会社千葉銀行 執行役員・法人営業部長 淡路 睦

外房サイクルサポーターズ

南房総(あわの国)サイクルツーリズム協会 瀬戸川 賢二・目黒 吉文

城西国際大学観光学部

鴨川市地域おこし協力隊

ちばプローモーション協議会

(公財)ちば国際コンベンションビューロー

(一社)ウェルネスポーツ鴨川 代表理事

只松 二三男

室谷 恵美

岩間 康徳

佐野 伸樹

内野 美佐

梅井 舜・清水 香那・國分 葵

小野 幸一

石田 文夫

大久保 利宏

渡辺 淳一

II N 16:16 / 2:36:55



● ■ **♦ ≥** ‡



04.5 スポーツ庁 スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

- ②サイクルツーリズム推進
- (1) ロゲイニングアプリ「Rogaining Hunter (ロゲハン)」

鴨川ロゲイニング2020 (2020.11.1~14)

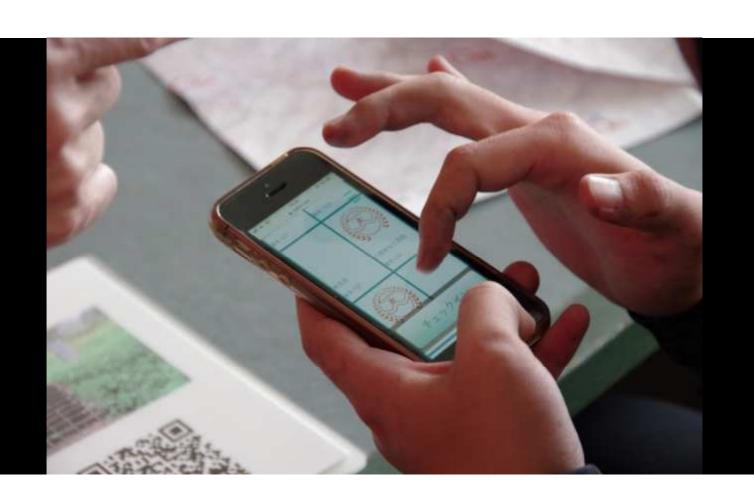
鴨川春ロゲ2021 (2021.1.22~2.7)

withコロナに対応した期間分散型・アウトドアイベント

- (2) 民間事業者(宿泊施設等)と連携したレンタサイクルツアー商品造成
- (3) インバウンド向けツアー商品造成 e-bikeモニターツアー(2020.10.31・2021.2.21)
- (4) ワーケーション対応の商品造成
- (5) 他地域・他自治体のサイクルツーリズム事業の企画・運営受託

















04.5 スポーツ庁 スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

- ③先進地視察
- (1) 長野県飯山市・長野市・白馬村 (2020.9.30~10.2)
 - ○信州いいやま観光局(長野県・新潟県9自治体連携)アウトドアツーリズム
 - ○ジュニア世代向け健康づくり・運動能力向上(長野県教育委員会・市町村・学校)
 - ○白馬村:各種サイクルツアーの体験視察(ガイド付MTB、ガイド無e-bike)









05 3年間の総括・今後の展望

05.1 重要なポイント

- ①コロナ禍による価値観・ライフスタイルの転換
 - **▶ スポーツ・ウェルネス**の重要性
 - ▶ ウェルネスツーリズム(アウトドア、サイクル、マリンビーチ)のニーズ/期間分散・少人数
 - ▶ ワーケーション・サテライトオフィス・二地域居住などの新しい滞在スタイル
- ② 持続可能なスポーツコミッション組織の確立
 - 事業の整理:公益性(行政との連携) 収益性(独自事業) ⇒ 財源
 - ▶ 大会合宿誘致、施設の指定管理は地域貢献度は高いが、組織継続の財源にはならない。
 - ▶ 通年型・常設ツアー・プログラムの造成・展開
- ③「ウェルネスシティ鴨川」の基は市民の健康・地域の幸福
 - ▶ スポーツを文化に/スポーツと文化の融合 ⇒ 地域スポーツカルチャーコミッションへ
 - ▶ 地域ウェルネス推進事業(ジュニア・働き盛り・シニア世代向け)の拡充
 - ▶ 部活動の地域化/地域スポーツコミッション・地域総合型スポーツクラブとの連携

05.2 事業の整理

①大会・合宿誘致事業

公益性:高 収益性:低

○大会・合宿による**地域経済の活性化**、地域のスポーツ振興・イメージアップ

②運動施設の指定管理事業

公益性:高 収益性:低

- ○民間参入による**サービス品質の向上**・施設運営のコストパフォーマンスの改善
- ○ハード管理とソフト事業を分けて考える必要がある。
- ○スポーツを「する」人だけでなく、「**見る」「支える」人**も利用・交流する多機能化
- ③ウェルネスツーリズム事業(サイクル、マリンビーチ、農スポーツ、ワーケーション)

公益性:中 収益性:中

- ○ロゲイニング、通年型・常設ツアー・プログラムの平日も含めた分散型開催
- ④地域ウェルネス推進事業

公益性:高 収益性:低~中

○市民への**運動機会**創出、スポーツ敬遠層へのアプローチ (スポーツ実施率向上)

05.3 独自性・差別化:ウェルネスポーツ鴨川の強み

①スポーツ・ウェルネス活動の「見える化」

定性的評価 + **定量的評価** = **実感 ▶** 継続への**モチベーション** ツアー・プログラム商品への**数値**記載 ▶ **説得力**

②スポーツではないスポーツのアプローチ

スポーツを**前面に出さない**アプローチ ▶ スポーツを**身近に**

③スポーツによる地域課題解決

スポーツの楽しさ ▶地域課題解決

国のスポーツ施策の方向性とも合致

④柔軟性・機動力の高い組織

少人数での運営・20~40代中心のスタッフ

2021年度以降の展望 | インナー政策の強化

アウター政策

大会・合宿誘致 ウェルネスツーリズム推進

十

インナー政策

スポーツ × 健康 × 教育

食 × ICT



ウェルネスシティ鴨川の実現 鴨川型の先駆的地方創生モデル

05.5 2021年度以降の事業展開 | 2 + 2事業

①大会・合宿誘致

- ○2020東京五輪事前キャンプ・五輪レガシー(欧州との国際交流関係の醸成)
- ○**マリン・ビーチスポーツ**のメッカに(サーフィン備品の活用、ビーチスポーツ大会の開催継続)

②運動施設の指定管理受託(ソフト事業)

- ○平日閑散期の利用促進(ウェルkamo教室などのプログラム)
- ○スポーツを「**する」人以外**の利用・交流の促進(ウェルkamoコーナーの拡充)

③ウェルネスツーリズムの推進

- ○**サイクルツーリズム**の推進(アフター・コロナを見据えた、**インバウンド**展開)
- ○ロゲイニングや通年型・常設ツアー・プログラム(ウェルネスの科学的実証)による恒常的な誘客
- ○スポーツ草刈などの新たなアイディアによる誘客・地域課題解決

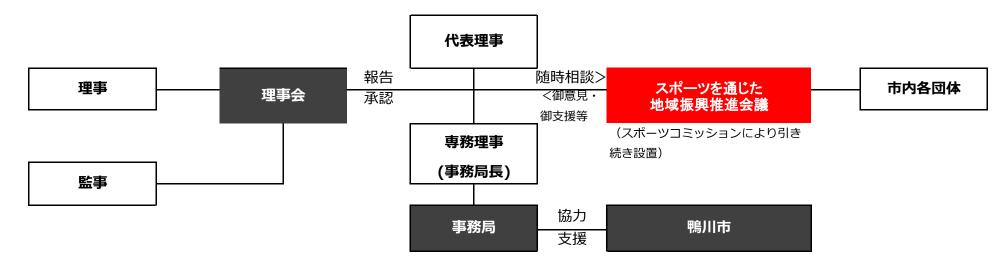
4地域ウェルネス推進

○スポーツをアプローチにした、市民の**運動機会**創出・スポーツ実施率向上、部活動の地域化

スポーツコミッション組織図

組織名称:一般社団法人ウェルネスポーツ鴨川

設立: 2019年3月22日



No.	団体名	役職	氏名
1	鴨川市体育協会	会長	花山藤太郎
2	鴨川市スポーツ推進委員連絡協議会	会長	山下洋介
3	オルカ鴨川FC	代表	亀田秀次
4	MOPS	監督	高橋松吉
5	一般社団法人 鴨川市観光協会	会長	鈴木健史
6	鴨川市商工会	会長	島田誠一
7	鴨川観光プラットフォーム株式会社	事業推進統括	刈込信道
8	鴨川サーフィンクラブ	会長	川井幹雄
9	一般社団法人 ウェルネスポーツ鴨川	代表理事	渡辺淳一
10	学校法人 国際武道大学	教授	清水宣雄
11	学校法人鉄蕉館 亀田医療大学	事務局長	江羅 茂
12	一般社団法人 鴨川青年会議所	理事長	小越 友
13	鴨川ライオンズクラブ	会長	高橋政貴
14	鴨川ロータリークラブ	会長	亀田美穂
15	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	スポーツ医学科部長	大内 洋
16	鴨川市	市長	長谷川孝夫